

ブラジル・メキシコ・アルゼンチン 経済・金融概況 (2023年10月)

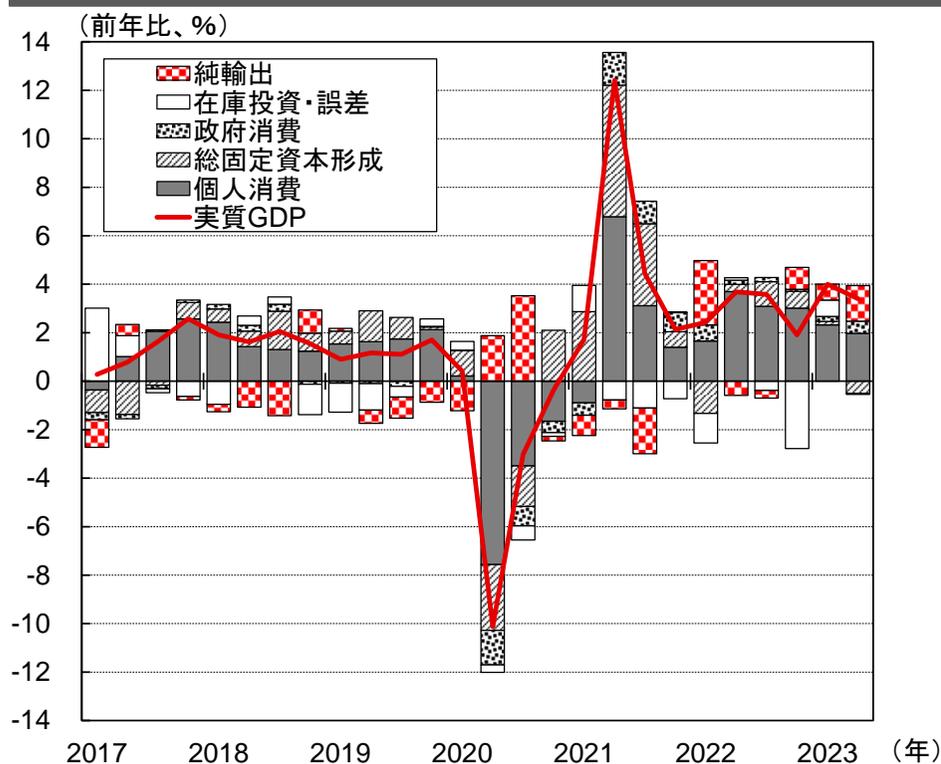
2023年10月16日

三菱UFJ銀行 経営企画部 経済調査室

1. ブラジル (1) 景気概況

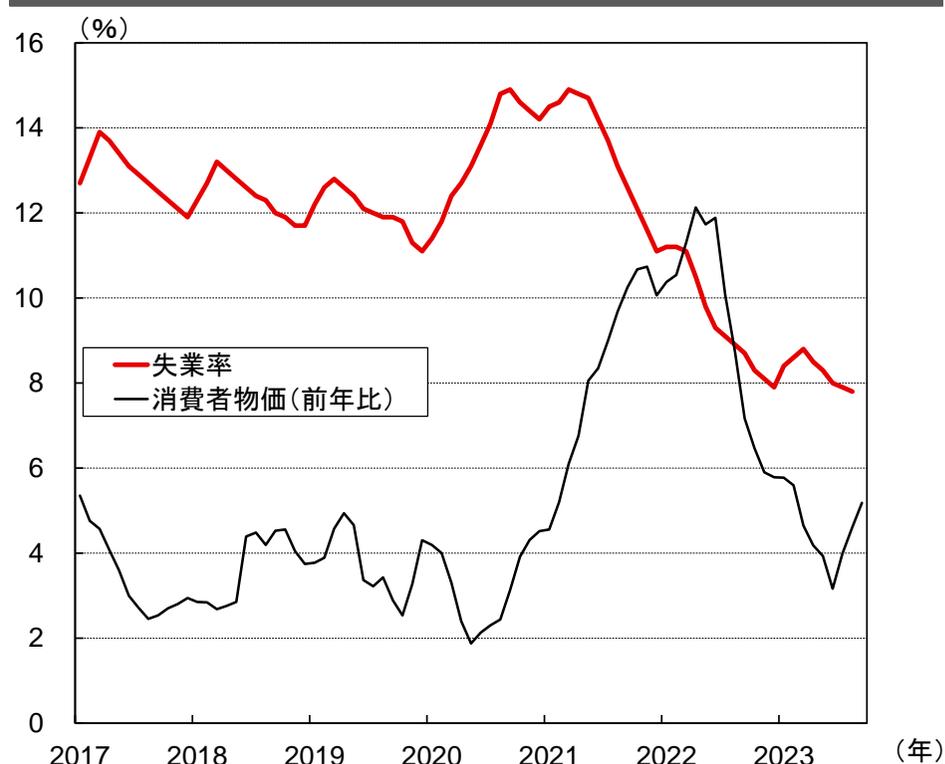
- 4-6月期の実質GDP成長率は前年比+3.4%と前期(同+4.0%)から小幅に減速。需要項目別の寄与度をみると、個人消費(同+2.0%ポイント)が堅調に推移したほか、純輸出(同+1.5%ポイント)と政府消費(同+0.5%ポイント)が前期からプラス幅を拡大。一方、総固定資本形成(同▲0.5%ポイント)は前期(同+0.1%ポイント)からマイナスに転じた。
- 8月の失業率は7.8%と低水準で推移。
- 消費者物価上昇率は6月に前年比+3.2%と、インフレ目標(3.2%)の水準まで低下したものの、エネルギー価格高騰の影響により9月には同+5.2%に上昇。

実質GDP成長率の推移



(資料)ブラジル地理統計院統計より国際通貨研究所作成

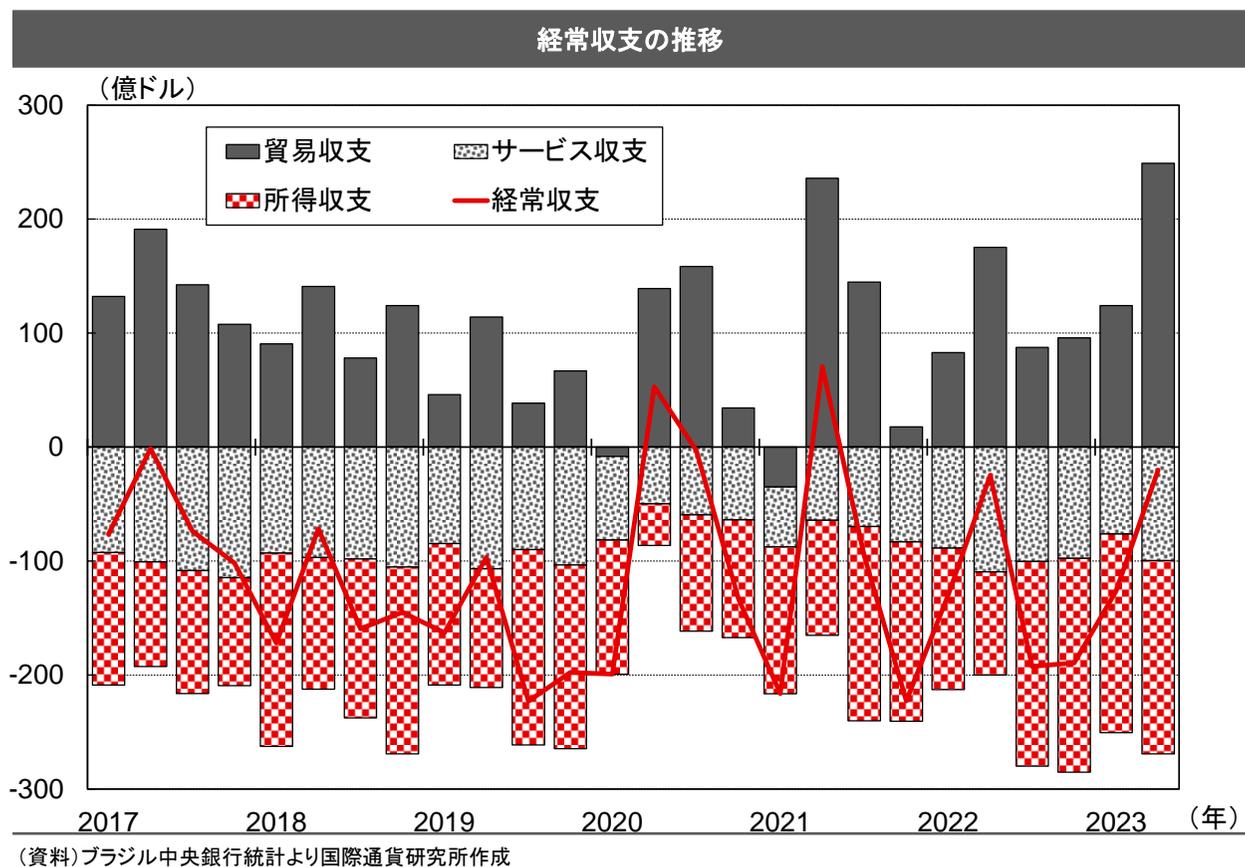
失業率と消費者物価上昇率の推移



(注)『失業率』は未季節調整値。
(資料)ブラジル地理統計院統計より国際通貨研究所作成

1. ブラジル (2) 経常収支

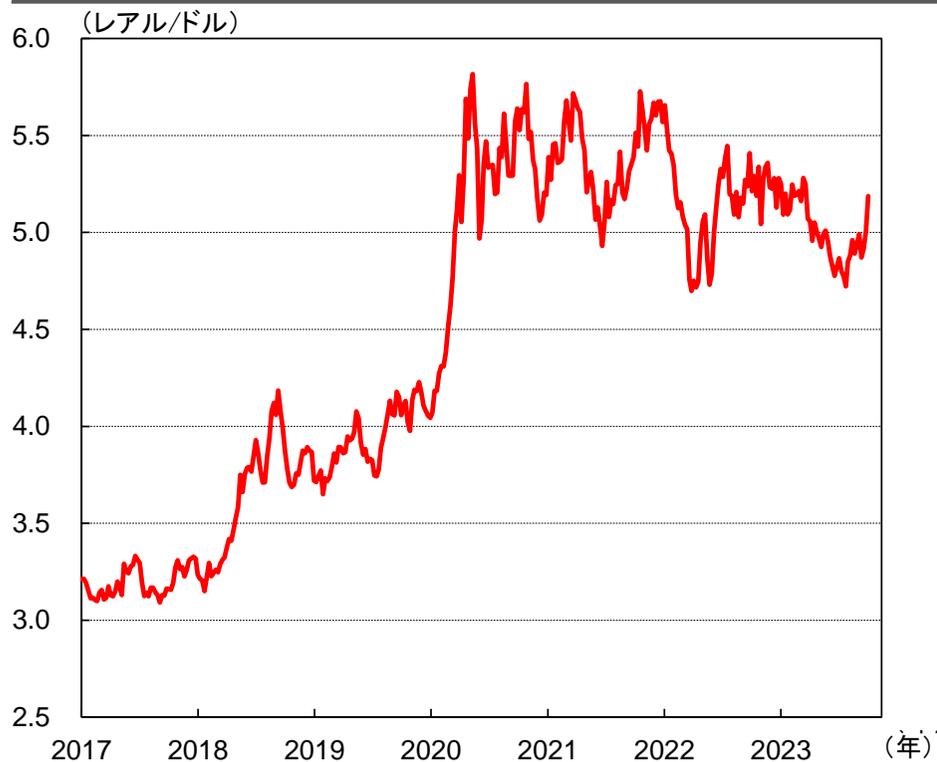
- 4-6月期の経常収支は▲20億ドルと、前年同期の▲126億ドルから赤字幅が縮小。
- 内訳をみると、所得収支は▲170億ドル(前年同期比▲79億ドル)と赤字幅が拡大した一方、農産物輸出の好調に伴い貿易収支が249億ドル(同+74億ドル)と黒字幅が拡大し、サービス収支は▲100億ドル(同+10億ドル)と赤字幅が縮小。



1. ブラジル (3) 金融市場

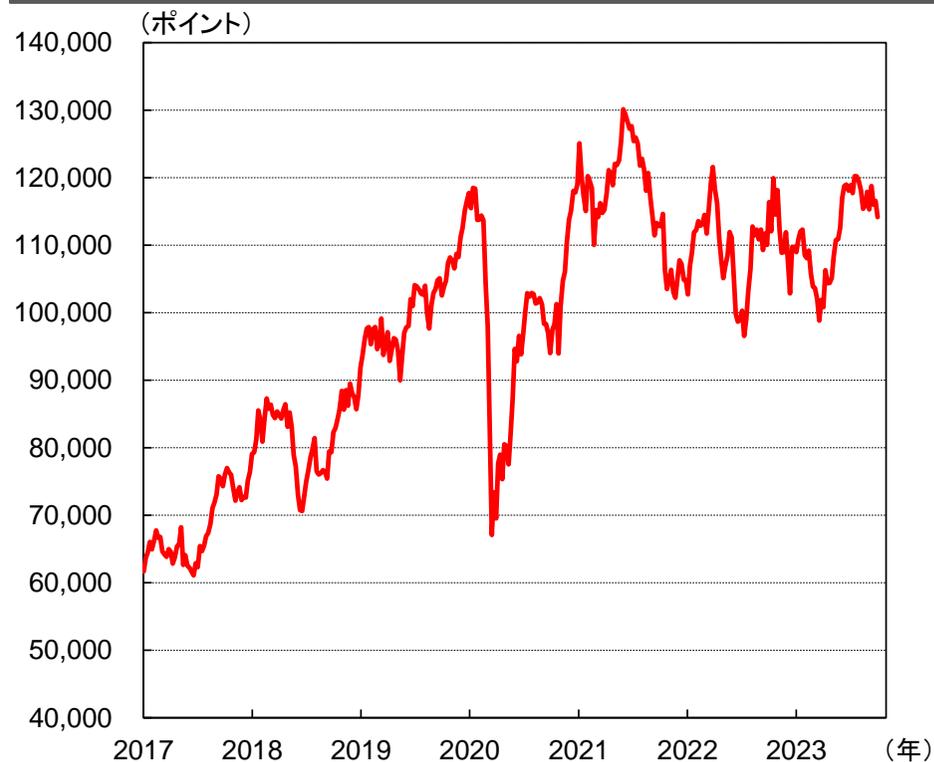
- ブラジルレアルの対ドル相場は、足元9月時点で1ドル=5.0レアル近辺で推移。
- 2020年8月以来、ブラジル中銀は政策金利を13.75%に据え置いていたが、今年8月と9月の金融政策委員会で政策金利をそれぞれ0.5%ポイントずつ引き下げ、12.75%とした。
- 株価(ボベスパ指数)は、足元110,000ポイント台で推移。

ブラジルレアル(対米ドル)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

株価(ボベスパ指数)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

1. ブラジル (4) 経済・金融概況

ブラジルの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2020	2021	2022	22/7-9	10-12	23/1-3	4-6	23/6	7	8	9
実質GDP成長率(前年比、%)	(▲3.3)	(5.0)	(2.9)	(3.6)	(1.9)	(4.0)	(3.4)				
経済活動指数○	132.98	139.15	143.17	145.35	143.32	146.59	147.59	146.89	147.53	—	—
鉱工業生産(前期比、%)○	(▲4.7)	(4.2)	(▲0.7)	(▲0.6)	(0.1)	(▲0.0)	(0.2)	(▲0.0)	(▲0.6)	(0.5)	—
設備稼働率○	(76.8)	(81.0)	(80.5)	(80.4)	(79.8)	(79.1)	(78.8)	(78.6)	(78.4)	(78.5)	—
小売売上高(前年比、%)	(1.1)	(2.2)	(1.1)	(▲0.2)	(1.5)	(2.4)	(0.3)	(1.4)	(2.4)	—	—
自動車国内販売台数(千台)	2,058	2,120	2,104	585	602	472	527	190	226	208	198
失業率(%)	(13.5)	(13.5)	(9.5)	(8.9)	(8.1)	(8.6)	(8.3)	(8.0)	(7.9)	(7.8)	—
消費者物価上昇率(IPCA) (前年比、%)	(3.2)	(8.3)	(9.3)	(8.7)	(6.1)	(5.3)	(3.8)	(3.2)	(4.0)	(4.6)	(5.2)
卸売物価上昇率(前年比、%)	(16.2)	(37.0)	(11.2)	(9.1)	(5.8)	(0.5)	(▲7.5)	(▲10.3)	(▲11.5)	(▲11.0)	(▲9.5)
輸出(FOB)(億ドル)	2,092	2,808	3,341	916	830	774	909	299	286	314	—
(前年比、%)	(▲5.4)	(34.2)	(19.0)	(17.8)	(21.6)	(5.5)	(▲1.5)	(▲9.7)	(▲5.2)	(0.8)	—
輸入(FOB)(億ドル)	1,588	2,194	2,726	829	734	650	660	217	220	238	—
(前年比、%)	(▲14.6)	(38.2)	(24.2)	(31.0)	(10.4)	(▲0.2)	(▲11.8)	(▲15.9)	(▲15.6)	(▲16.8)	—
貿易収支(億ドル)	504	614	615	87	96	124	249	82	66	76	—
経常収支(億ドル)	▲282	▲464	▲536	▲192	▲189	▲126	▲20	▲13	▲40	▲8	—
直接投資ネット流入(億ドル)	378	464	872	268	184	0	0	19	42	43	—
外貨準備高(億ドル)◎	3,320	3,094	3,075	2,800	2,719	2,837	2,915	2,915	3,059	3,085	3,092
ベースマネー(億リアル)◎	4,315	4,092	4,197	3,934	4,197	4,133	4,031	4,031	3,949	3,998	4,045
政策金利(Seric Target rate)◎	(2.00)	(9.25)	(13.75)	(13.75)	(13.75)	(13.75)	(13.75)	(13.75)	(13.75)	(13.25)	(12.75)
対米ドル為替相場◎	5.196	5.580	5.217	5.406	5.217	5.080	4.819	4.819	4.741	4.922	5.007
株価指数(ボベスパ指数)◎	119,017	104,822	109,735	110,037	109,735	101,882	118,087	118,087	121,943	115,742	116,565

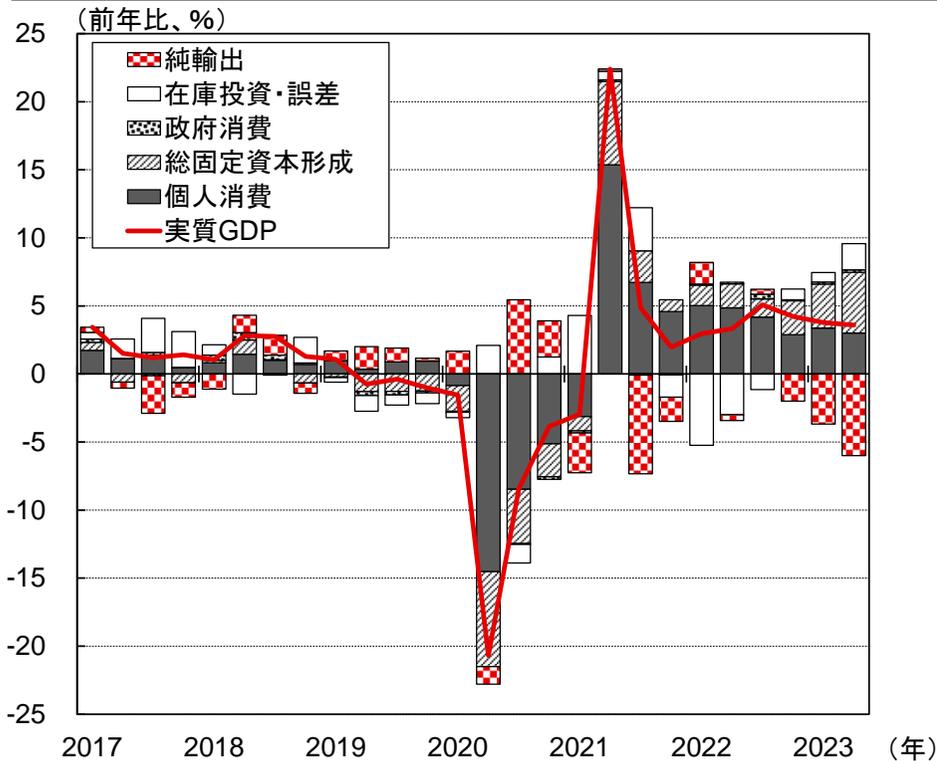
(注)◎印: 期末値、○印: 季節調整値

(資料) ブラジル中銀、ブラジル地理統計院(IBGE)、世界銀行、サンパウロ証券取引所より国際通貨研究所作成

2. メキシコ (1) 景気概況

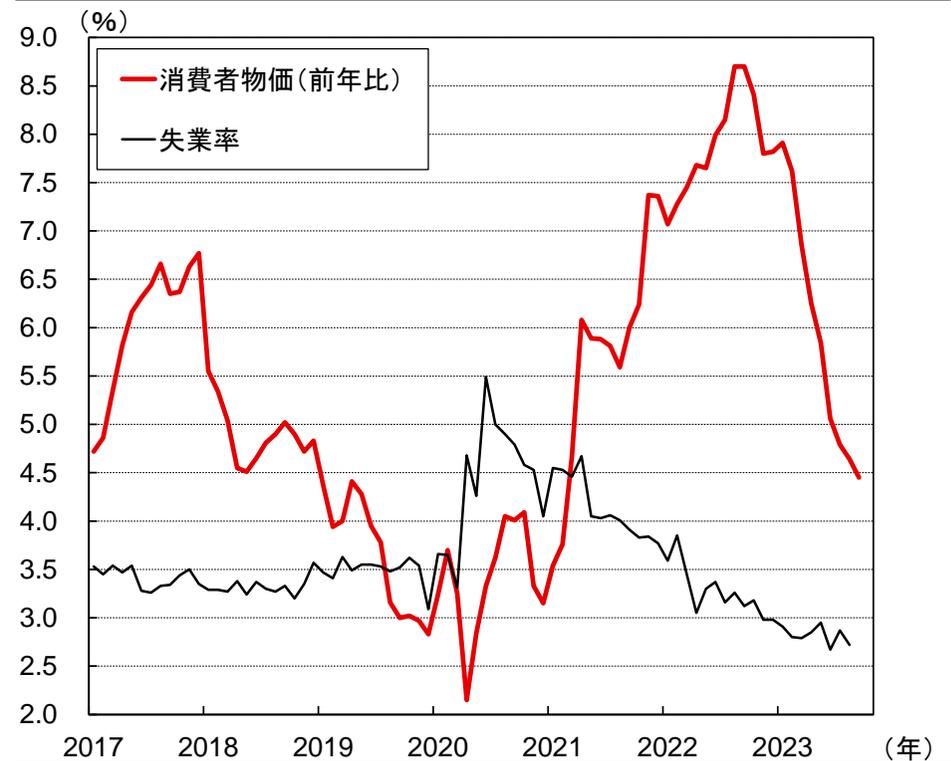
- 4-6月期の実質GDP成長率は前年比+3.6%と前期(同+3.8%)から概ね横這いで推移。需要項目別の寄与度をみると、総固定資本形成(同+4.5%ポイント)と在庫投資・誤差(同+1.9%ポイント)はプラス幅を拡大し、個人消費(同+3.0%ポイント)はほぼ横這い。一方、輸出減少と輸入増加の影響により純輸出(同▲6.0%ポイント)がマイナス幅を拡大。
- 8月の失業率は2.7%と、新型コロナウイルス感染拡大前を下回る水準で推移。
- 9月の消費者物価上昇率は、メキシコ中銀の定めるインフレ目標(前年比+3%±1%)の上限を超過しているものの、前年比+4.5%と減速傾向。

実質GDP成長率の推移



(資料) 国立統計地理情報院統計より国際通貨研究所作成

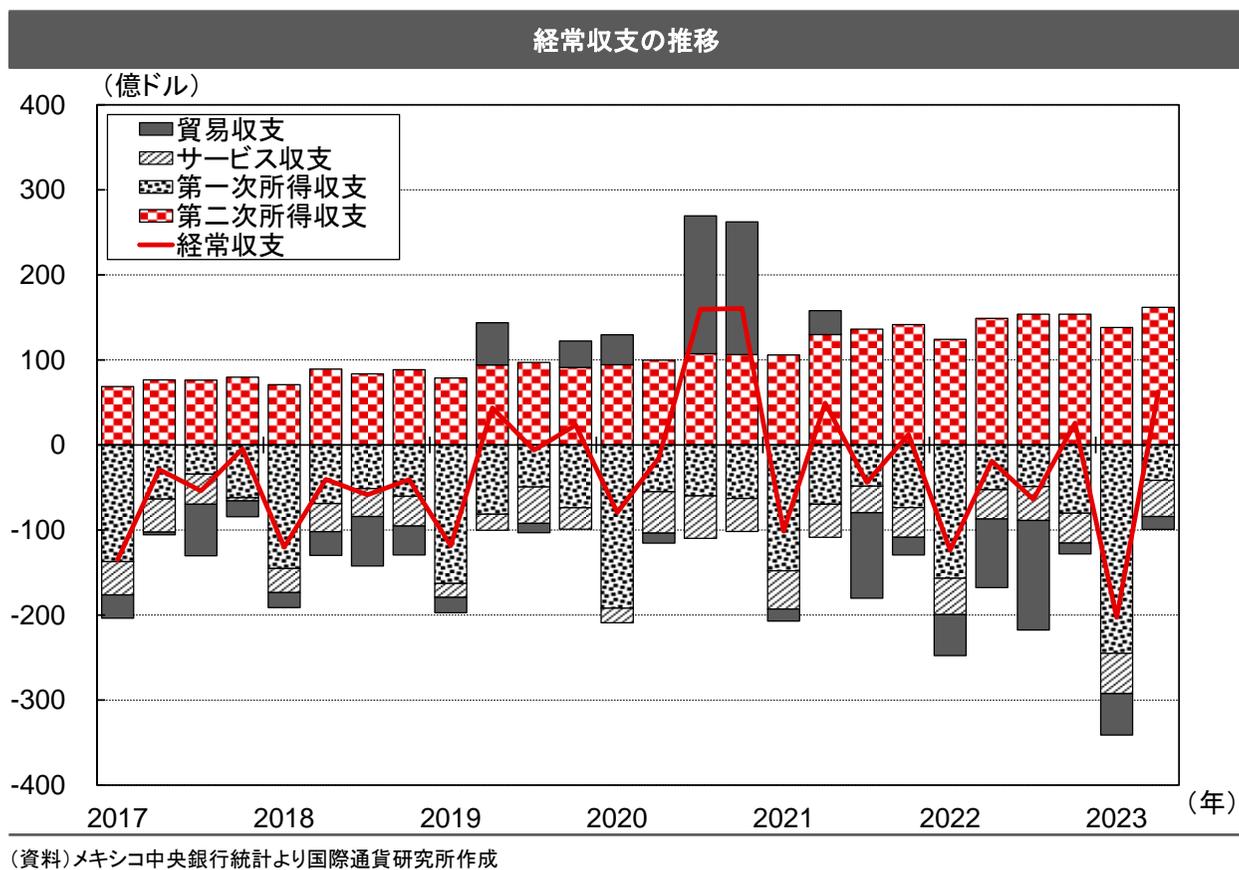
消費者物価上昇率と失業率の推移



(資料) 国立統計地理情報院統計より国際通貨研究所作成

2. メキシコ (2) 経常収支

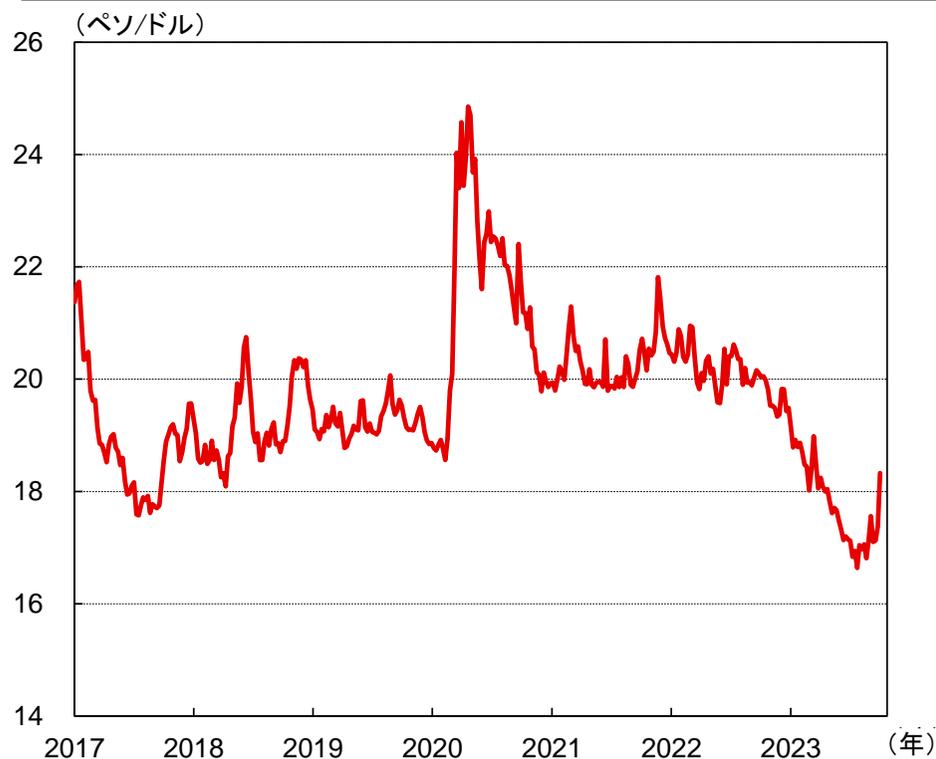
- 4-6月期の経常収支は62億ドル(前年同期比+81億ドル)と、黒字に転じた。
- 内訳をみると、サービス収支は▲43億ドル(同▲8億ドル)と赤字幅が拡大した一方、第二次所得収支が在米メキシコ人からの郷里送金の増加により162億ドル(同+13億ドル)と黒字幅が拡大したほか、第一次所得収支が▲41億ドル(同+11億ドル)、貿易収支が▲15億ドル(同+66億ドル)と赤字幅が縮小。



2. メキシコ (3) 金融市場

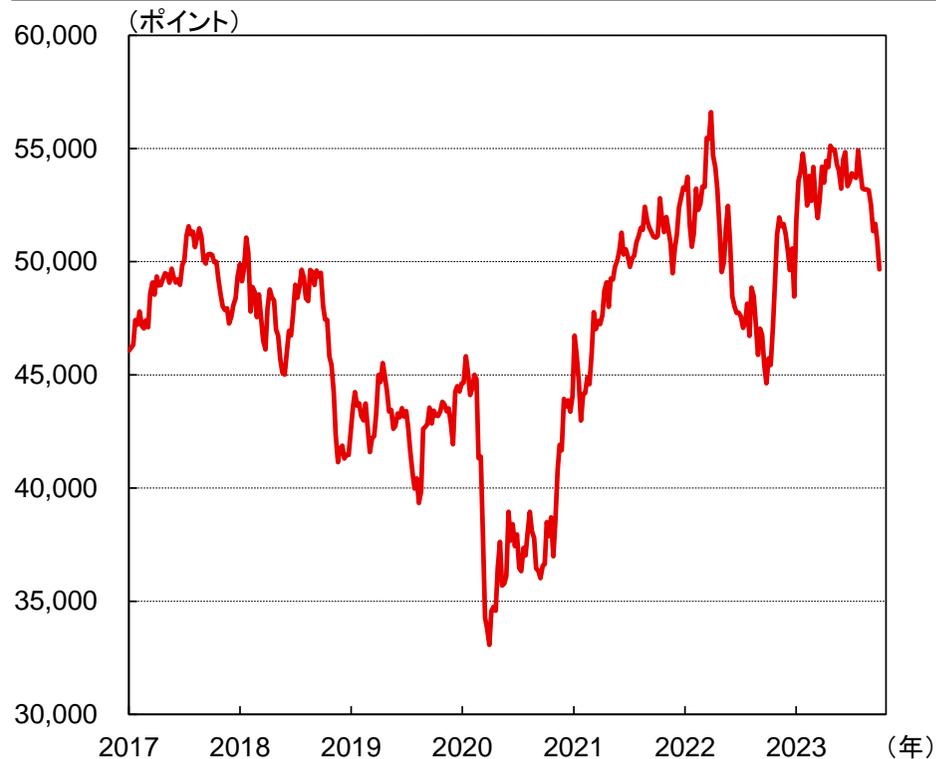
- メキシコペソの対ドル相場は小幅下落し、1ドル=18ペソ近辺で推移。
- メキシコ中銀は9月の金融政策会合にて、3会合連続で政策金利を11.25%に据え置き。
- 株価(ボルサ指数)は8月以降、金利上昇が続くとの見通し等により、49,000ポイント台まで下落。

メキシコペソ(対米ドル)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

株価(ボルサ指数)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

2. メキシコ (4) 経済・金融概況

メキシコの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2020	2021	2022	22/7-9	10-12	23/1-3	4-6	23/6	7	8	9
実質GDP成長率(前年比、%)	(▲8.7)	(5.8)	(3.9)	(5.1)	(4.2)	(3.8)	(3.6)				
鉱工業生産(前期比、%)○	(▲9.3)	(6.8)	(5.0)	(0.7)	(1.2)	(0.6)	(1.4)	(0.8)	(0.5)	(0.3)	—
自動車生産台数(千台)	3,046	3,028	3,308	850	797	922	970	332	294	326	339
自動車販売台数(千台)	949	924	897	187	252	315	318	114	111	114	118
原油産出量(千バレル/日)*	1,912	1,926	1,944	1,950	1,953	2,040	2,076	2,066	2,009	2,026	—
(前年比、%)	(▲0.4)	(0.7)	(0.9)	(1.6)	(0.6)	(4.8)	(7.8)	(7.2)	(3.1)	(3.9)	—
原油輸出価格(米ドル/バレル)	36.1	65.6	88.9	87.4	75.4	66.0	65.9	65.6	70.8	76.1	—
失業率(%)○	(4.4)	(4.1)	(3.3)	(3.2)	(3.1)	(2.8)	(2.8)	(2.7)	(2.9)	(2.7)	—
消費者物価上昇率(前年比、%)	(3.4)	(5.7)	(7.9)	(8.5)	(8.0)	(7.5)	(5.7)	(5.1)	(4.8)	(4.6)	(4.5)
輸出(FOB)(億ドル)	4,172	4,949	5,777	1,490	1,478	1,411	1,509	518	476	524	—
(前年比、%)	(▲9.4)	(18.6)	(16.7)	(21.0)	(9.2)	(6.8)	(1.4)	(1.1)	(2.9)	(3.8)	—
輸入(CIF)(億ドル)	3,830	5,057	6,046	1,619	1,490	1,459	1,524	518	484	537	—
(前年比、%)	(▲15.9)	(32.0)	(19.6)	(21.5)	(8.4)	(6.5)	(▲2.8)	(▲6.2)	(▲7.7)	(▲4.3)	—
経常収支(億ドル)	225	▲83	▲180	▲63.9	25.8	▲202.9	62.5				
資本収支(億ドル)	▲0	▲0	▲1	▲0.5	▲0.1	0.9	▲0.1				
外貨準備高(億ドル)◎	1,957	2,024	1,991	1,969	1,991	2,023	2,032	2,032	2,041	2,042	2,038
ベースマネー(億ペソ)◎	21,182	24,408	27,000	24,810	27,000	26,812	26,849	26,849	27,112	26,803	27,028
政策金利◎	(4.25)	(5.50)	(10.50)	(9.25)	(10.50)	(11.25)	(11.25)	(11.25)	(11.25)	(11.25)	(11.25)
対米ドル為替相場◎	19.91	20.47	19.47	20.09	19.47	18.04	17.14	17.14	16.73	16.92	17.41
株価指数(ボルサ指数)◎	44,067	53,272	48,464	44,627	48,464	53,904	53,526	53,526	54,819	53,021	50,875

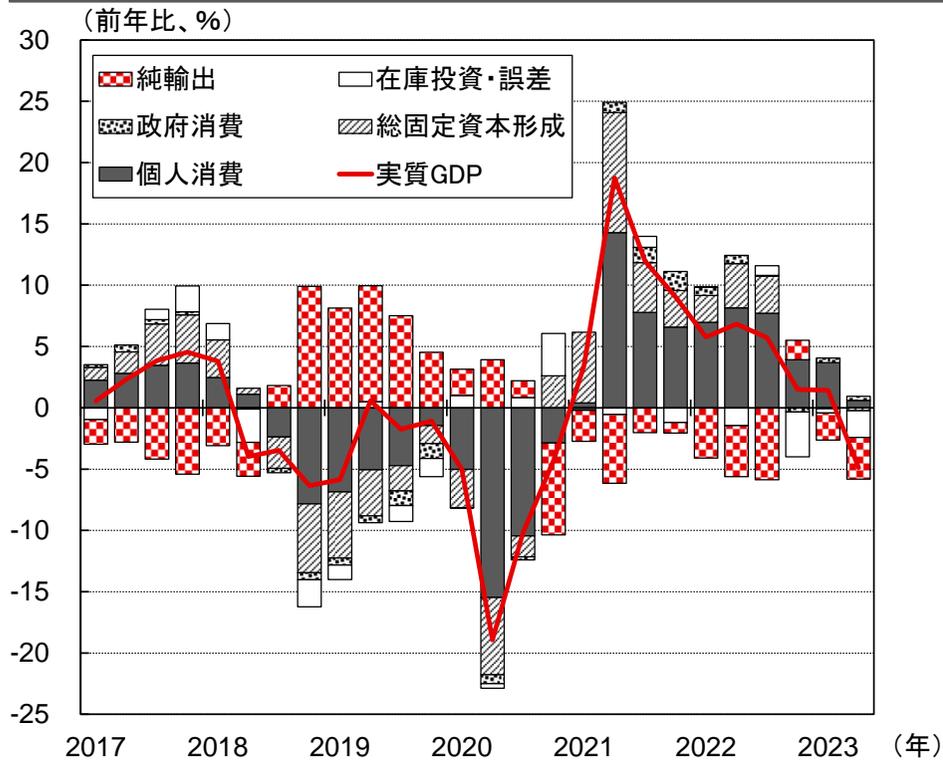
(注)*印:期中平均値、◎印:期末値、○印:季節調整値

(資料)メキシコ中銀、国立統計地理情報院(INEGI)、PEMEXより国際通貨研究所作成

3. アルゼンチン (1) 景気概況

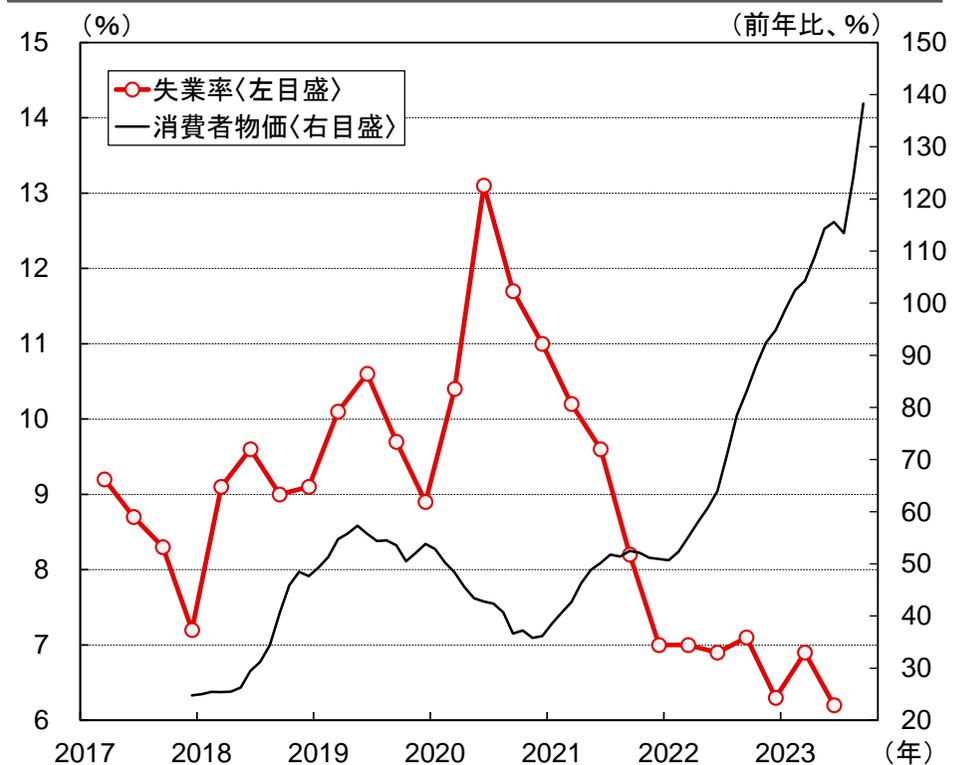
- 4-6月期の実質GDP成長率は前年比▲4.9%とマイナスに転じた。需要項目別の寄与度では、純輸出(同▲3.4%ポイント)と在庫投資・誤差(同▲2.2%ポイント)が前期からマイナス幅を拡大したほか、個人消費(同+0.6%ポイント)がプラス幅を縮小。
- 9月の消費者物価上昇率は、アルゼンチンペソの下落を背景に、前年比+138.3%と加速。
- 4-6月期の失業率は6.2%と低位で安定。

実質GDP成長率の推移



(資料)アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

失業率と消費者物価上昇率の推移

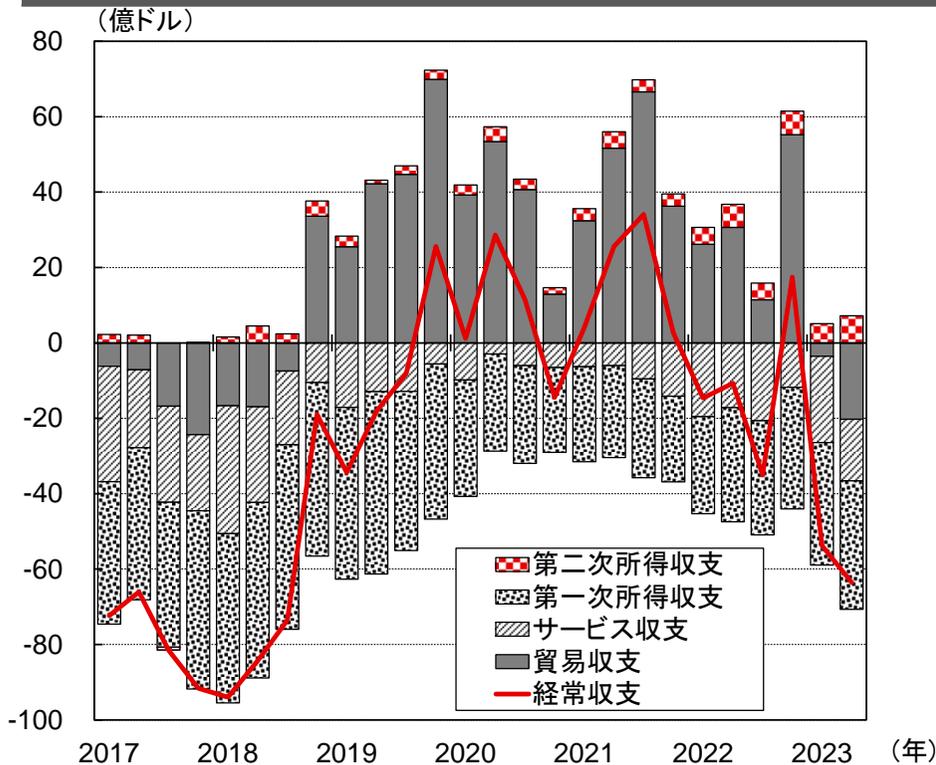


(資料)アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

3. アルゼンチン (2) 経常収支・外貨準備高

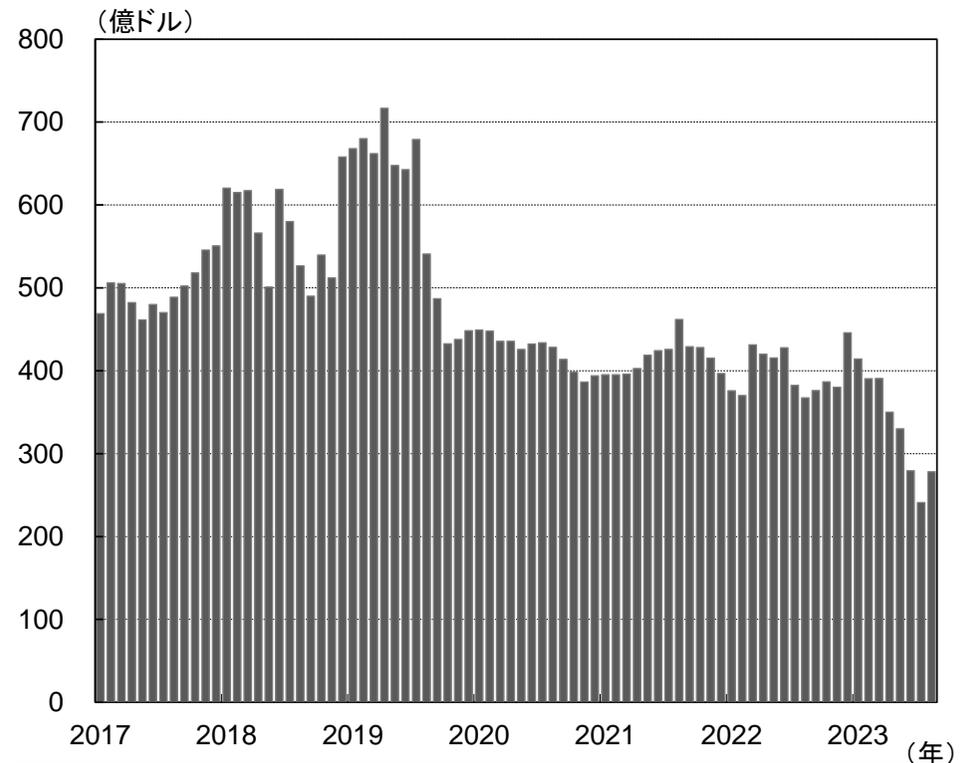
- 4-6月期の経常収支は▲64億ドル(前年同期比▲53億ドル)と赤字幅が拡大。歴史的な干ばつによる輸出減少と輸入増加に伴い、貿易収支が▲20億ドル(同▲51億ドル)の赤字となった。
- 8月末時点の外貨準備高は278億ドルと、7月末時点の241億ドルから増加も依然低水準。アルゼンチンは対外債務返済のためIMFに緊急支援を要請し、IMFは8月に75億ドルの支援を承認。

経常収支の推移



(資料)アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

外貨準備高の推移

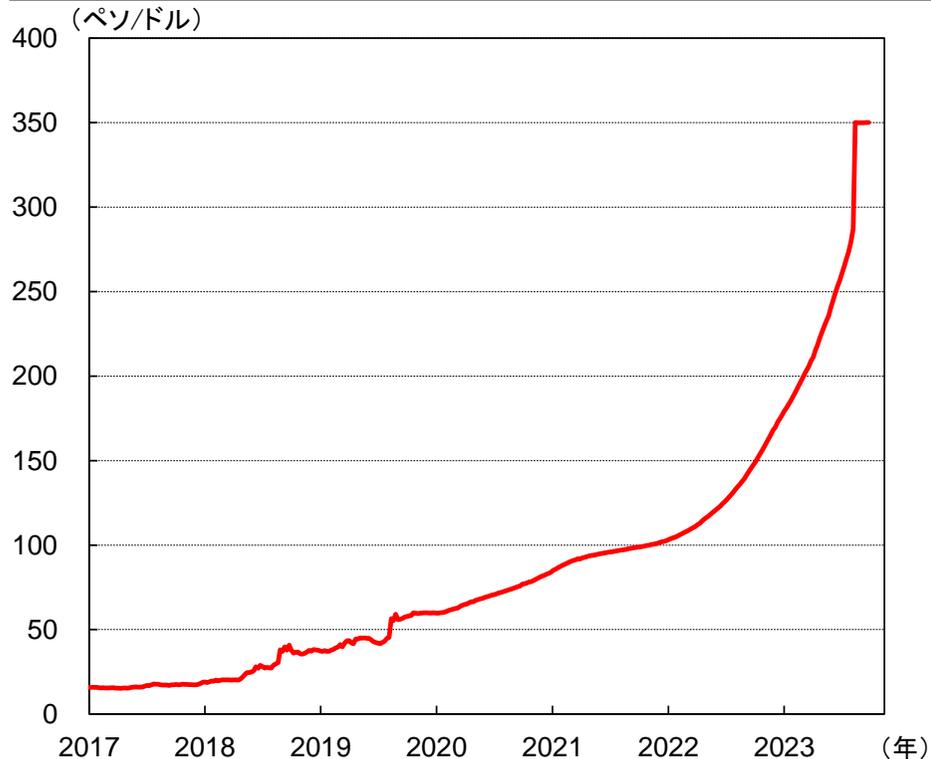


(資料)アルゼンチン中央銀行統計より国際通貨研究所作成

3. アルゼンチン (3) 金融市場

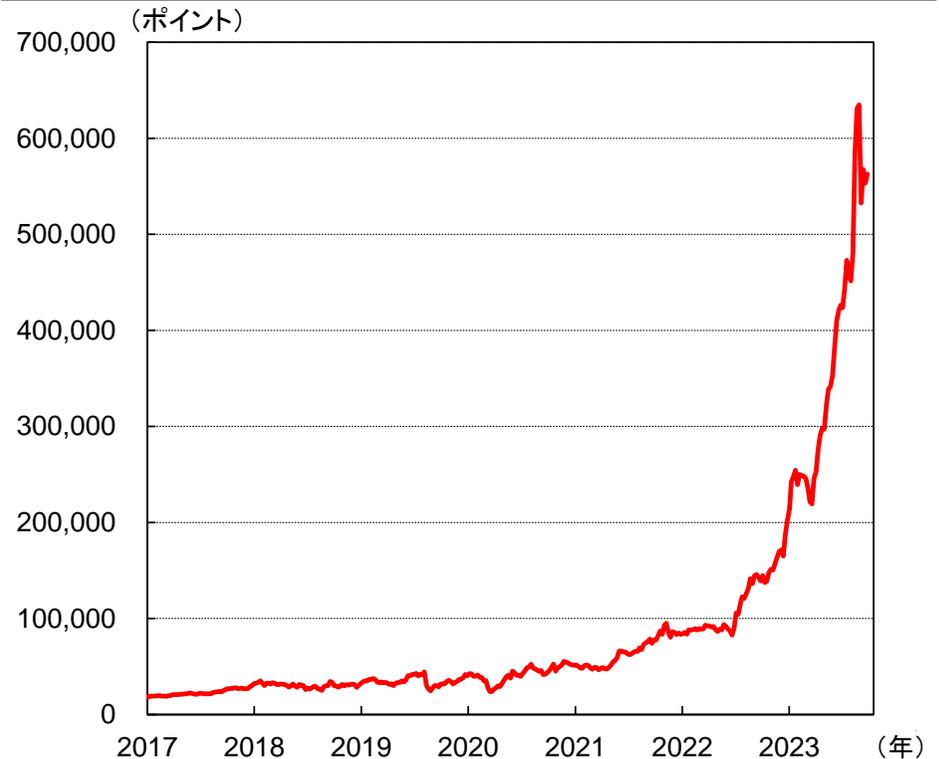
- アルゼンチンペソの対ドル相場は、8月の予備選挙で中央銀行の廃止と経済のドル化を公約に掲げるハビエル・ミレイ候補が与党候補を抑え1位となったことからペソ売りが進行。中央銀行はペソを切り下げ、公式為替レートを1ドル=350ペソ前後に設定。
- 中央銀行は8月、通貨の切り下げと同時に、政策金利を118%に引き上げ。10月には、さらに15%ポイントの利上げを実施し、133%とした。
- 株価(メルバル指数)は、8月の予備選挙の結果を受け一時630,000ポイント台まで上昇したが、9月は500,000ポイント台で推移。

アルゼンチンペソ(対米ドル)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

株価(メルバル指数)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

3. アルゼンチン (4) 経済・金融概況

アルゼンチンの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2020	2021	2022	22/7-9	10-12	23/1-3	4-6	23/6	7	8	9
実質GDP成長率(前年比、%)	(▲9.9)	(10.7)	(5.0)	(5.7)	(1.5)	(1.4)	(▲4.9)				
鉱工業活動指数(前年比、%)	(▲7.1)	(17.2)	(4.2)	(5.4)	(0.1)	(2.7)	(0.1)	(▲2.5)	(▲3.9)	(▲3.1)	—
建設活動指数(前年比、%)	(▲18.7)	(53.4)	(3.5)	(5.3)	(▲4.3)	(▲0.8)	(▲3.2)	(▲2.8)	(▲5.8)	(▲3.0)	—
自動車生産台数(千台)	257	435	537	150	143	135	161	54	49	63	57
自動車販売台数(千台)	313	334	376	93	102	90	117	44	31	30	43
失業率(%)	(11.6)	(8.8)	(6.8)	(7.1)	(6.3)	(6.9)	(6.2)				
消費者信頼感指数	40.3	38.0	36.9	36.3	35.6	37.6	39.1	41.8	43.6	44.1	43.4
消費者物価上昇率(前年比、%)	(40.4)	(50.9)	(92.0)	(77.6)	(91.8)	(102.0)	(113.0)	(115.6)	(113.4)	(124.4)	(138.3)
輸出(FOB)(億ドル)	549	779	884	229	212	159	176	54	61	59	—
(前年比、%)	(▲15.7)	(42.0)	(13.5)	(▲0.2)	(8.0)	(▲17.9)	(▲29.8)	(▲35.8)	(▲22.4)	(▲22.4)	—
輸入(CIF)(億ドル)	424	632	815	217	157	163	196	72	68	69	—
(前年比、%)	(▲13.8)	(49.2)	(29.0)	(33.5)	(▲2.0)	(▲2.9)	(▲10.7)	(▲16.3)	(▲18.4)	(▲12.4)	—
貿易収支(億ドル)	125	147	69	11	55	▲4	▲20	▲18	▲7	▲10	—
外貨準備高(億ドル)◎	394	397	446	376	446	391	279	279	241	278	269
ベースマネー(億ペソ)◎	24,703	36,540	52,038	40,990	52,038	53,695	58,857	58,857	63,927	66,219	68,282
対民間部門貸出量(億ペソ)◎	37,618	53,574	90,297	77,341	90,297	106,592	134,422	134,422	143,624	158,944	—
(前年比、%)	(33.2)	(42.4)	(68.5)	(65.7)	(68.5)	(83.5)	(96.1)	(96.1)	(99.0)	(112.8)	—
経常収支(億ドル)	27	66	▲43	▲35	17	▲54	▲64				
対米ドル為替相場◎	84.15	102.75	177.13	147.32	177.13	208.99	256.68	256.68	275.28	350.02	350.01
株価指数(メルバル指数)◎	51,226	83,500	202,085	139,115	202,085	245,716	426,281	426,281	457,138	653,603	562,569

(注)*印:期中平均値、◎印:期末値

(資料)アルゼンチン中銀、国家統計センサス局、経済省、アルゼンチン大学、OECD、アルゼンチン経済省より国際通貨研究所作成

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。

会社名：株式会社三菱UFJ銀行 経済調査室
〒100-8388 東京都千代田区丸の内2-7-1

照会先：国際通貨研究所 森川 央 morikawa@iima.or.jp
並木 馨子 keiko_namiki@iima.or.jp